

■課題

若い世代の里山への関心が低下することで、里山の担い手が不足し、荒廃が進んでいる。

■解決策

若い世代を対象にした里山の保全・継承のための活動の計画を立て、里山に興味を持ってもらう。

■現状

〈能登里山の現状〉

昭和35年～ 薪炭の需要が減少→雑草林が放置  
昭和60年～ 林業従事者は減少（珠洲市）  
一度荒れ放題になった山の再生には、長い時間が必要  
→大切さを若い世代に伝えていく

〈現在行われている取り組み〉

「NPO 法人能登半島おらっちゃんの里山里海」  
…子ども対象の講義、実習  
「万葉の里山づくり友の会」  
…きらめ樹間伐、子ども恵みの里づくり

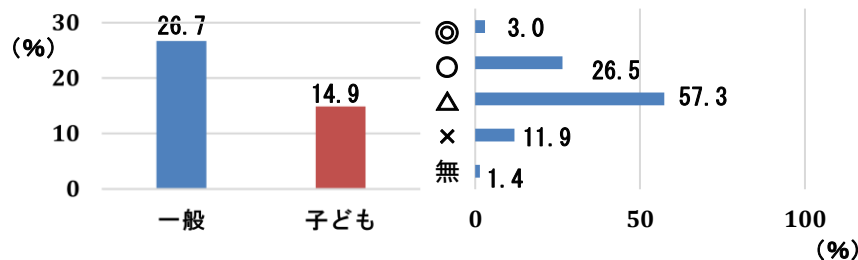
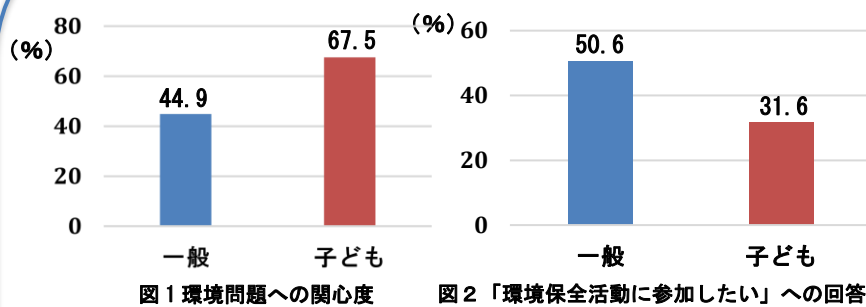


[http://www.satoyama-satoumi.com/satoyama\\_blog/oraccha/archives/cat105/index.ht](http://www.satoyama-satoumi.com/satoyama_blog/oraccha/archives/cat105/index.ht)

〈荒廃の影響〉

放置すると、タケ類・ネザサ類の侵入・繁茂  
樹林更新・遷移が阻害され森林構造が単純化。

〈子どもの大人と比較した環境問題への関心度〉



→子ども対象の里山保全活動を計画する

■活動計画1

里山保全活動・自然体験  
〈活動内容〉

① 住宅地に近い荒廃の進んだ里山の土地の所有者に許可をいただき、地域の団体または公的施設の活動として放置林の回収を行う。



<https://innosho.co.jp/dictionary/973.html>

② 友達と里山の中で自由活動をする。

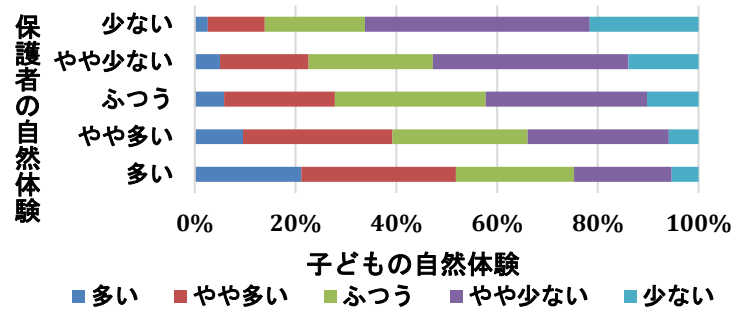
■活動計画2

タケノコを親子で採集するボランティア  
〈目的と活動〉

里山の保全と継承のために、放置林がみられる森林を把握し、活動場所とする。また、子どもを対象に、里山の現状についての講習会を実施する。

■効果

- ・減少する森林従事者の負担を軽減
- ・子どものころの自然体験活動への参加が、自然への愛着を生む
- ・里山の整備をすることで、自然と触れ合える場所を拡大  
→子どもたちへの自然活動促進につながる。



・親子での自然体験の参加の促進が期待できる。

■参考文献

「特集生物多様性の保全について」. <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankyo/shiryo/hakusyo/reporth20/documents/h20kan1.pdf>  
 「珠洲の里山里海の現状」. <https://www.city.suzu.lg.jp/kikakuzaisei/eibututayousei.html>  
 「里地里山の現状と課題について」. [https://www.env.go.jp/nature/satoyama/conf\\_pu/21\\_01/shiryo3.pdf](https://www.env.go.jp/nature/satoyama/conf_pu/21_01/shiryo3.pdf)  
 「環境にやさしいライフスタイル実態調査結果について」. <https://www.env.go.jp/council/02policy/y020-12/mat02.pdf>  
 石川県生活環境部温暖化・里山対策室. 「石川の里山里海を支えるパートナー」. <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/iso/documents/vol5.pdf>  
 国立青少年教育振興機構（令和元年度）. 「青少年の体験活動等に関する意識調査」. [https://www.niye.go.jp/kenkyu\\_houkoku/contents/detail/i/154/](https://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/154/)